

## 第85回「幼児体育指導員養成講習会」

「幼児体育が何か」が見えてきた!

私は、5月28日(土)・29日(日)、至学館大学で行われた「幼児体育指導員養成講習会」を受講しました。講義も実践も充実していて、2日間の講習会でより広く、深い理解ができました。基礎的なことから、運動をするための4つのスキルや運動遊びの仕方までを学び、リズム遊びやグループ遊び、移動道具を使う運動の仕方、幼児が行いやすい前転や鉄棒の逆上がりの指導法などを学ぶことができました。

2日目は、講義との実践の集大成ともいえる運動会も行われ、大変貴重な体験や学びを得るまたとない機会となりました。

人間生活科学部 教育保育学科3年 伊藤友哉さん 名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身

「やった!」人生初となる資格を手に入れた!

5月28日(土)・29日(日)、幼児体育指導員養成講習会が至学館大学で行われました。1日目は座学、2日目は筆記テストと実技があり、筆記はすべて記述式だったため、気を引き締めてテストに臨みました。結果、無事に合格することができ、その時の感動はまるで大学の合格通知を手にした時のようでした。今回の講習会を通して、努力したことが資格取得につながったと実感できました。また、自信を持つこともでき、この機会を与えてくださった方々に本当に感謝しています。

次は何の資格取得で喜びにひたれるのか。今から楽しみです。

人間生活科学部 教育保育学科1年 藤山拓哉さん 愛知県立豊丘高等学校出身



2日目の筆記試験に備え真剣に講義を聴講する学生たち



「幼児体育指導員」認定書を手にガッツポーズする伊藤さん(右端)

## 2016年度中国現代文学研究者懇話会

11月5日(土)、愛知大学車道校舎にて「作家・閻連科(えん れんか)氏を迎えて」と題して講演会とシンポジウムが開かれ、第二部では本学経営学部の谷川教授が司会を担当し、閻連科氏との対談も行いました。会場にはたくさんの閻連科ファンが集まり、大盛況となりました。

谷川教授はこれまで閻連科氏の小説の翻訳を3冊出版しており、なかでも2014年に出版された『偷楽』は日本でも話題となりましたが、今年11月10日には新訳『年月日』も出版され、早くも注目を集めています。



懇話会の司会進行を務める谷川教授(右端)と、閻連科氏(右から3番目) 蘇州大学文學院教授王堯氏(右から2番目)

## 2017年度入試日程

※選考方法については、「2017年度入試試験要項」にてご確認ください。

■大学 経済学部・経営学部、法学部、人間生活科学部 教育保育学科・管理栄養学科

入試区分		出願期間(消印有効)		試験日	審査結果発表日	合格発表日
AO	Ⅳ期	エントリー	2016年11月29日(火)~2017年1月3日(火)	1月7日(土)	1月11日(水)	—
		正式出願(専願)	2017年1月12日(木)~1月17日(火)	—	—	1月27日(金)

入試区分		出願期間(消印有効)		試験日	合格発表日
一般入試	前期A日程	2017年1月4日(水)~1月16日(月)		1月21日(土)・22日(日)	1月27日(金)

入試区分		出願期間(消印有効)		試験日	審査結果発表日	合格発表日
フナナ奨学生選抜		2016年11月15日(火)~12月12日(月)		12月18日(日)	12月23日(金)	1月27日(金)

※その他、AO入試(V~VII期)、一般推薦(後期)、一般入試前期(B日程)・中期・後期、センター利用入試も実施します。

■大学院 法学研究科/法学専攻(修士課程)・企業法学専攻(博士後期課程)・会計学研究科/会計学専攻(博士前期課程)・(博士後期課程) 人間生活科学研究科/幼児保育学専攻(修士課程)・栄養管理學専攻(修士課程)

研究科	専攻	課程	入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
法学	法学・企業法学	修士・博士後期	Ⅱ期	2017年1月10日(火)~1月18日(水)	2月12日(日)	2月17日(金)
会計学	会計学	博士前期・博士後期				
人間生活科学	幼児保育学・栄養管理學	修士	Ⅲ期	2017年1月10日(火)~1月19日(木)	2月5日(日)	2月17日(金)

※上記各研究科・専攻の入試には、推薦、一般、社会人、外国人留学生の入試区分があります。

## 学校法人市邨学園教育研究充実寄附金のお願いについて

学校法人市邨学園では、少子化の進行などにより今後より一層厳しさを増す私学を取り巻く環境を踏まえ、110年積み上げて参りました教育・研究活動の益々の振興充実をはかるべく、「学校法人市邨学園教育研究充実寄附金」(任意)を募集いたしております。

趣旨にご賛同いただき、ご寄附をお申し出いただける場合、またご不明の点などありましたら、右記までご連絡いただきますよう、よろしくお願いたします。なお、本法人は、特定公益増進法人の認定に加え、税

寄附金に関する照会・連絡先

学校法人市邨学園 法人本部(寄附金担当)  
TEL 052-853-0047 (代表)

# MEIKEI

あなたのご意見をお聞かせください

「名経大通信」Vol.54について、ご意見やご感想などございましたら、入試広報部(右記連絡先)までお聞かせください。

MEIKEI 名経大通信 Vol.54

平成28年11月2日発行 名古屋経済大学・短期大学部 〒484-8804 愛知県東海市内久保6-1 TEL 0568-67-0511(代) http://www.nagevo-akucju.ac.jp/

入試広報部 TEL 0568-67-0624 FAX 0568-69-2700 ●本誌掲載の応募・写真・イラスト等の著作権を保護し、無断複製を禁じます。

# MEIKEI

名経大通信 Vol.54  
2016.11.24  
名古屋経済大学  
名古屋経済大学短期大学部





記者の要望に応えて「ガッツポーズ」

ドラフト直後の記者会見

犬山市長へ「ドラフト指名報告」

## MEIKEI Hot News

# チームメイトから祝福の嵐 “MAX151キロ”を武器に 「開幕一軍！」実現向けトレーニング開始。

### ドラフトにまつわるQ&A

#### Q1

中尾さんに聞きました  
取材日:11月9日

#### 運命のドラフト会議当日から約3週間 現在の心境は？

まず、指名してくださった東京ヤクルトスワローズに感謝しています。そして、ここまで自分を育ててくれた母親や野球の指導をしてくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。



ドラフト当日、チームメイトからの祝福を受ける

#### Q2

#### ドラフト当日、指名された時の 気持ちはどうでしたか？

周囲から、指名されることは確実だと言われていましたが、いざ、当日になると、本当に指名されるかどうか不安でした。指名された時のことは、今思えば、“嬉しさよりもホッとした”という気持ちだったかもしれません。また、記者会見後、チームメイトから祝福されたことがすごくうれしかったです。

#### 中尾 輝 (なかお ひかる)

1994年9月14日生まれ  
愛知県名古屋南区、杜若高等学校(愛知県)出身  
身長180cm 体重83kg  
最速151キロの速球、カーブ・スライダースプリット・シュートを武器に活躍。



ヤクルトの中西スカウト(左)、島原チーフスカウト(右)と記念撮影に収まる中尾さん

#### Q3

#### 新聞などで、大学入学時から 体が大きくなったと報道されていますが 改めて、お話して いただけますか？

大学に入学した当時は線が細くて、体重が62キロ、球速もMAX135キロでした。体を大きくしたくて、トレーニングに励み、食事でも1日5食にしました。毎日、母親がさまざまなメニューを考えて食事を作ってくれたので、ひたすら食べまくってました(笑)。その成果が出て、4年生になった時には体重が83キロに増え、球速もMAX151キロにまで伸びることができました。

#### Q4

#### 大学入学後、野球に関することで 伸びたきっかけなどありましたか？

自分を名経大に誘ってくださった平林監督(元阪急の選手)、入学後に指導してくださった加藤、川口両コーチに感謝しています。特に、自分がピッチャーということもあって、加藤ピッチングコーチ(元近鉄の投手)には、本当にお世話になりました。

#### Q5

#### それでは、最後に今後の 目標をお話してください！

目標は『開幕一軍』です。その目標を実現させるには、まず2月から始まるキャンプで一軍のメンバーに選ばれる必要があります。そのためにトレーニングを重ね、プロの練習についていける体を作りたいと思っています。そして、母親や今までさまざまな面で指導してくれた方々に恩返しができるように頑張りたいと思います。



## クラブ報告

### 強化指定クラブ シーズン結果

#### 男子バスケットボール部

3年連続、  
3回目の  
インクレ出場！  
(全国大学選手権大会)



松本選手の活躍！

#### 女子バスケットボール部

強化1年目で  
東海学生  
2部リーグに昇格！



#### 男子サッカー部

東海学生  
1部リーグで活躍中！



#### ラグビー部

2部リーグ 2位入賞  
1部リーグとの入替戦に出場！



#### 女子サッカー部

愛知県2部リーグ  
前期首位タイ！  
後期リーグで  
優勝を目指します！



#### 硬式野球部

愛知学生2部  
Aリーグ  
5勝5敗 4位



#### 硬式テニス部

男子部・女子部共に  
来年度東海リーグ戦参戦



#### 剣道部

男子団体 全日本学生剣道  
優勝大会 出場  
女子団体  
東海女子学生剣道  
優勝大会 決勝トーナメント  
2回戦出場



# 名経祭&わいわい犬山フェスティバル

## 第14回 名経祭 MEIKEI Festival

10月8日(土)・9日(日)犬山キャンパスでは、「第14回名経祭」が開催されました。犬山観光学生大使と「わん丸君」も応援に駆けつけ、お祭りムード満載!! 附属市邨幼稚園児の「竹太鼓」でステージの幕が開き、後夜祭の手筒花火&打ち上げ花火まで、大いに盛り上がった2日間でした。

僕たち 宣伝隊長 やきどりピカオ vs TACOの戦い!!



1カ焼きで勝負! 3リ3リのイカに 塩・グレー・味マヨの トッピングもGo!!



犬山市の公式キャラクター わん丸君の登場で 大人も子どもも... 記念撮影会!

番号札も... 1カ焼きでお揃い!!



田中先生やったよ! 模擬店グランプリ No.1は田中ゼミ

### Meikei Performance Contest & 模擬店グランプリ!

今年の名経祭は、変化の年?! 模擬店コンテストに加え、Meikei Performance Contest に9組のパフォーマーがエントリー。1日目のステージを華やかに彩りました。初代チャンピオンは ●管理栄養学科3年のアカベラグループ「あなざーらいぶ」。4月の結成以来、週1回授業後20時まで練習に励んだという、パワーいっぱい仲良し6人組。コンテスト総投票数の1/2を上回る票が「あなざーらいぶ」を後押ししました。恒例の模擬店グランプリは ●教育保育学科4年の田中ゼミの焼きそばとタピオカセットでお得感満載。2日間、朝から働きづめで足も腕もパンパンだけど、学生生活最後の年に優勝できて本当に嬉しい!! と、笑顔で話してくれました。



No.2は、秋田ゼミの やきどり!!

パフォーマンスコンテスト 初代チャンピオン 「あなざーらいぶ」 かつらの、練習したもんね!



伝統の味を受け継ぐ 寺田ゼミのどん汁!



みんなー じゃんぽ! OK? 絵本の世界へ たんぽんに行くよ。

お父さん・お母さんの 声援に応え じかピカのステージ



「エビカニクス」 戸幼稚園・保育園で大人気!! みんなでいっしょに踊っちゃおう



- 1 たません by 中村ゼミ3年
- 2 原宿ドッグ by 李彩華ゼミ
- 3 おもきな? 焼き鳥 by 矢野ゼミ
- 4 ホリプロシアター 「どもだちほしなのおおかみくん」
- 5 もぐらたたき一む
- 6 きっずばれっと "on Stage"
- 7 おもちゃづくり 「かぼちゃのバッグ」
- 8 光松ゼミ「ファッションショー」
- 9 プラスバンド部による 演奏パフォーマンス

'2年間の学びをテーマに 大きな壁画を 制作しました!

飯田ゼミ2年生による 220×320cmの"力作" 古布を使用した環境に やさしい作品です。



来場者の「びっくり!」と笑顔を期待して... 皆が懸命に取り組んだ密度の高い10日間でした!

### わいわい犬山フェスティバル

名経祭と「わいわい犬山フェスティバル(犬山市産業振興祭)」を同時開催。両会場を往復するシャトルバスの運行で大勢の来場者で盛り上がりませました。また、経済学部学生研究室「地域政策チーム」による地域情報の見える化とその活動方法を中心に日頃の活動を両会場で紹介しました。9日には「自転車散策inいぬやま」に参加された皆さんも大勢来場いただき、本学の地域交流の輪は、着実に広がりを見せています。

地域政策チーム 安心・安全マップに感心を寄せる来場者



## オープンキャンパス「保育を体験しよう!」

### 人間生活科学部 教育保育学科がプロデュース

8月のオープンキャンパスでは、附属市部(いちむら)幼稚園の夏期保育の時間をお借りして、学生が実際に保育実践を行いました。この取り組みは、キャンパス内に附属幼稚園があるからこそ実施できるものです。

準備段階では、学年や組織を超えた連携や打ち合わせを入念に行い、学生たちは苦労しながらも、1・2年のリーダーを中心として事前の準備に取り組んでいました。



参加者と一緒に手遊びでリラックス



園児にうさぎのお面作りをレクチャー(森さん)



ゲームいくつクリアできたかな?

当日は、子どもたちの楽しむ様子がうかがえ、参加した高校生からも「楽しかった」「子どもたちが可愛かった」など、さまざまな感想を聞くことができました。実践後の学生からは、反省の声が多く聞かれましたが、こうした経験は、必ず学生の教師力となります。それぞれの反省は今後の教育・保育者としての生涯の学びに繋がるものと信じています。

(人間生活科学部 教育保育学科教授 矢野正)

#### voice 子どもたちが成長できる指導案を考えたい

私は、夏期保育に保育者という立場で参加させていただきました。そこで私が感じたことは子どもたちに説明することの難しさです。しかし、先輩たちのサポートもあり、子どもたちに楽しんでもらうことができました。今回の経験から、指導案を考えることの難しさや事前準備の大変さ、考えた活動を楽しんでもらえることの楽しさを知ることができました。

「保育を体験しよう!」での経験を生かし、子どもたちが楽しみながら成長できる指導案を考えられる先生になりたいと思います。さまざまなことを得る、とても良い機会となりました。

人間生活科学部 教育保育学科1年 森彩子さん  
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身

#### voice 緑日ゲームとスタンプ集めが大好評!

私は1年生とともに、年長組を担当させていただきました。最初にクラスごとに製作活動をし、その後、緑日ゲームのスタンプ集めを行いました。準備をするものが多かったため、先生方からアドバイスをいただき、当日スムーズに動けるように何度もシミュレーションを行いました。予定通りには進みませんでした、子どもたちの「楽しかった!」「スタンプ集めたよ!」と嬉しそうな表情を見ることができました。

1つ1つの声かけや援助を丁寧にすれば、子どもたちは楽しんでくれると実感しました。この経験を生かし、今後の実習も頑張ろうと思います。

人間生活科学部 教育保育学科2年 我妻まゆさん  
愛知県立惟信高等学校出身

## 虫歯予防啓発活動

### 虫歯予防の劇を演じて感じたこと

8月23日(火)、小牧市保健センターとの連携で一色保育園に行きました。虫歯予防の劇を通して感じたことは、子どもたちは素直だということです。初めて子どもたちの前で劇を演じたので、とても緊張しましたが、私たちの問いかけに対してたくさん反応してくれました。私たち学生から子どもたちへ歯磨きの大切さを伝えられたことを嬉しく思います。

これからもいろいろなことを少しでも多くの子どもたちへ伝えていきたいと思います。

短期大学部 保育科1年 小塚佳苗さん  
愛知県立犬山南高等学校出身



虫バイキングが来たゾー!

## 保育ボランティア

### 貴重な経験ができ、多くの学びにつながりました

私は、長期休暇を利用して犬山市にある「子ども未来園」でボランティアをさせていただきました。実習前にボランティアを体験することで、保育所と幼稚園の違いや保育実習についての見通しを持つことができ、実習に活かすことができました。また、ボランティア経験は進路を決定する上でも参考になりました。ボランティアで子どもたちと実際にふれあい貴重な経験ができたことで、多くの学びにつながり、とても良かったと思っています。

●犬山市役所(保育職)内定  
短期大学部 保育科2年 村田夢乃さん  
岐阜県立東濃実業高等学校出身



## 楽田コミュニティ20周年「夏まつり」

### 児童文化サークル「いろは」が初活動

8月6日(土)、楽田地区の楽田コミュニティ主催の夏まつりに「名経大ブース」を開設し、名経祭のチラシの配布、楽田地区と連携した本学の取り組みなどを紹介しました。

また、今年度発足したばかりの児童文化サークル「いろは」が、初めての活動をしました。「いろは」は教育保育学科学生がメンバーのサークルです。今回は、輪投げやモグラたたきなどを手作りで作成し、行列ができるほど多くの子どもたちを楽しんでもらいました。今後は、日頃学んでいることを活かして、地域のイベントなどで活動していく予定です。

(児童文化サークルいろは顧問 人間生活科学部 教育保育学科准教授 秋田郁)



ゆかた姿で夏まつりを盛り上げるメンバーたち!

「いろはのメンバー」左から馬原さん・宮田さん・小島さん・石川さん・下川さん  
大学祭実行委員長として参加した山本さん(右端)

#### voice 子どもたちが楽しく遊べる場所を提供したい

今回が初めての活動だったため、当日子どもたちに来てもらえるか不安でしたが、多くの子どもたちが楽しそうに遊んでいるのを見て、とても嬉しくなりました。実際に遊んでもらうと、モグラたたき台の強度が弱かったり、輪投げのピンがすぐ倒れてしまったりと、改善が必要な点を見つけたので、次の機会への参考にしたいと思います。まだサークルができただけで手探り状態ですが、これからも子どもたちが楽しく遊べる場所を提供していきたいと思っています。

●児童文化サークルいろは 人間生活科学部 教育保育学科2年 石川奈津美さん 愛知県立岡崎高等学校出身  
小島ひなのさん 下川文葉さん 愛知県立犬山南高等学校出身  
馬原佑果さん 名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身  
宮田祐希さん 名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身



手づくりわなげ

モグラたたき

## 犬山城下町 キッズ愛ランド

### 「学びの場」としての継続的な取り組み

7月3日(日)、犬山市どんでん館前広場にて「キッズ愛ランド」を開催しました。まちかどボランティアセンターから声をかけていただき、5月に続いたの参加です。まちかどボランティアセンターや城下町の皆さんに学生の活動を温かく見守っていただき、遊びに来た子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました。

今後も城下町での遊び場が「学びの場」として継続した取り組みになるよう、温かいご声援をお願いいたします。

(短期大学部 保育科准教授 関谷みのぶ)



#### voice キッズ愛ランドを終えて

小さな子どもたちも保護者と一緒にでき、どの年代でも楽しめる「磁石を使った魚釣りゲーム」を企画したため、いろいろな年齢の子どもたちが遊んでくれました。

今回のボランティアを通して、学校では学びにくい幅広い年齢の子どもたちとも関わることができました。この経験を生かし、これからの学びに繋げていきたいと思っています。

短期大学部 保育科1年 石花彩華さん 愛知県立犬山南高等学校出身

#### voice 交流の中で犬山の素晴らしさを発見

さまざまな人と交流することができましたが、特にミニSLに乗る子どもたちを見つめる両親の姿が印象的でした。

また、犬山城が日本最古の木造の城であり、海外からの観光客も大勢訪れることを知り、犬山の素晴らしさをより深く理解することができました。

人間生活科学部 教育保育学科2年 手塚啓介さん  
津田学園高等学校(三重県)出身



ミニSL「犬山城」へ向け出発進行!

# 名経大の農業体験

## 名経米を作ろう

社会科学系学部学生を対象に取り組んでいる「体験型プロジェクト」の一環として、本学では本年度からキャンパス周辺の水田を借りてコメ作り体験を行っています。6月には約8アールの水田で地元のJAや農家の方々の指導を受け、苗作りや田植えをすべて手作業で行いました。また、夏のうだるような暑さの中で除草作業を行いました。そうした苦勞に想いを馳せながら、10月には手作業で稲刈りを行い、共に収穫を喜び合いました。

このプロジェクトを通じて、食料を作ることの大変さと尊さ、地域の方々に支えられながら学習することの大切さを、学生と一緒に学ぶことができました。（経済学部教授 横平龍宏）

### voice 田植えから稲刈りまで、感動の体験

最初の授業は外部の方々にお越しいただき、米の種類や栽培方法など、さまざまな話を聞かせていただきました。田植えは予想より早く進み、苗もきれいにしっかりと植えることができました。収穫前には田んぼの様子を見に行き、その3週間後に、みんなで稲刈りを行いました。自分たちが育てた稲が美しい金色となり、しっかりと実をつけて頭を垂れた姿を見て心から感動しました。いざ、稲刈りしてみるとみんな作業が早く、機械を途中から導入したこともありさらに早く作業が終わりました。みんなの「やりきった!」という満足感のある表情を見た時、喜びと感動でいっぱいになりました。

経済学部2年 伊藤一誠さん 津田学園高等学校(三重県)出身

### voice 言葉では言い表せない、収穫の嬉しさ

最初、米の種から苗までの育成を見学してから、田んぼに入って肥料を撒き、土を管理しました。そして全員で協力して田植えをし、無事に終わった時には達成感を感じました。かなり楽しかったです!その後、苗の管理をしながら、除草も行いました。

最後は待ちに待った米の収穫です。手作業で稲刈りをしましたが、途中からコンバインを導入したことで面白いほど作業がはかまりました。たくさん収穫できた米を見た時の嬉しさは、言葉では言い表せません。全員が笑顔になり、本当に感動しました。この授業は楽しいですよ!

経済学部3年 鄧露健(トウロン)さん (中国人留学生)



「名経米を作ろう!」この秋一番の青空が祝福! 学長とともに収穫を終え記念撮影

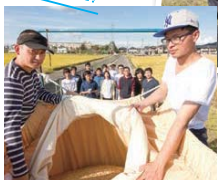
雨になんか  
負けてられない  
一心不乱に苗を植える!  
はじめての田植え体験



丁寧に苗を植える鄧さん



ほら、こんなに獲れた!



汗を拭うのも忘れて稲を刈る伊藤さん

## 大学と連携して行う農業体験

平成25年度に管理栄養学科の早川麻理子准教授の全面的協力を得て、学生と地域の農業ボランティアの方々約20名で幼稚園の空き地を開墾していただき、以後サツマイモの苗植えとイモ掘り体験を毎年行っています。子どもたちにとっては、世代を超えて、みんなで農作物を育てる楽しさと収穫の喜びを感じ取ることも貴重な体験といえます。収穫されたサツマイモは、「大学イモ」や「スイートポテト」に調理され、園児たちの「大好きなおやつ」となって提供されています。（名古屋経済大学附属市部幼稚園 園長 鈴木文雄）



指導を受け苗を植える園児たち



お好きなサツマイモがとれたー?

# 地域連携・産学連携

## 参議院議員通常選挙・期日前投票実務体験

6月27日(月)~29日(水)と7月1日(金)~3日(日)、犬山市選挙管理委員会のご協力により、7月10日参議院議員通常選挙・期日前投票実務体験に23名の学生が参加しました。事前に選挙管理委員会事務局の職員から選挙や投票所の仕組み・担当の業務内容などの説明を受けた後、案内係・投票用紙交付係を役割分担し、実務体験することができました。



投票用紙を確認し、次の場所へご案内



スタッフの皆さんの気づかいに感謝

笑顔での応対・・・  
ひと言、ひと言  
丁寧に声かけを実践

## 犬山市「地方版総合戦略」学習会&ワークショップ

犬山市が今年3月に地方創生に向けて策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の内容を学び、学生目線で地域振興を考える「犬山市の総合戦略学習会&ワークショップ」を地域連携センターが企画し、多くの学生や教職員が参加して活発に意見交換を行いました。

少子高齢化による人口減少が現実的な課題となる中、「大学や学生ができることは何か?」「果たすべき役割は?」といった難しいテーマに対して、教職員や学生同士で真剣かつ前向きに議論を深めました。このような機会を通してさまざまなアイデアを行政に届け、地域と大学とのコラボレーションが始まることを期待しています。（横平）



それぞれの意見を付箋に書きまとめる



教員も加わり意見の交換をする

### voice 参加することの重要さと面白さを感じた



私はワークショップに参加して、もっと地域を知る必要があると感じ、犬山城下町に足を運びました。大切なのは、自分の目で見て学ぶことだと思います。

現在は私の住んでいる地域の「港まちづくり協議会」が主催するイベントや勉強会に参加しています。一人ひとりが地域について考え、地域活動に参加することが未来を紡ぐ第一歩になるのではないのでしょうか。今回の学習会&ワークショップは、多くのことを学ぶ機会になりました。

経営学部4年  
タシバ・サミー・ケンジさん  
愛知県立愛知商業高等学校出身



市役所の職員の方とも  
熱い意見交換!

## 名古屋市消費生活フェア2016

経済学部学生研究室「地域政策チーム」は、今年も11月5日(土)にオアシス21で開催された「名古屋市消費生活フェア」に出展しました。

今年の展示は、本学学生を対象にしたスマホ利用のアンケート「大学生の食生活・野菜に対する意識調査」の結果発表でした。野菜を食べる頻度が自宅生と下宿生でどのくらい違うかなどをわかりやすくポスターにまとめ、たくさんの方々に説明を聞いていただきました。（経済学部准教授 佐野八重）



アンケート調査の説明に耳を傾ける来場者

クイズの答えをパネルで「見える化」

## 地域連携・産学連携

### 犬山の学校給食を考えよう

#### 「各地域の優れた伝統的な食文化」をテーマに

教育活動の一環として実施されている学校給食を学ぶために、栄養教諭を目指す2年生が「犬山の学校給食を考えよう」をテーマに、学校給食の献立づくりに取り組んでいます。7つの学校給食の目標から、今回は「各地域の優れた伝統的な食文化」に視点を当てて献立を考え、栄養価や作業工程を検討しながら試作をしました。その後、犬山市教育委員会の管理栄養士の方々をはじめ、市内の小中学校の栄養教諭、学校栄養職員の方々に献立をプレゼンテーションし、給食に採用できるかどうかを検討していただきました。その結果、2つの献立が採用されることになり今後が楽しみとなりました。

(人間生活科学部 管理栄養学科准教授 倉橋伸子)



検討会

試作

#### voice 貴重な体験になった献立プレゼンテーション

栄養教諭論の授業の一環として、犬山市の学校給食の献立立案をすることになりました。実際に現場で働かれている栄養教諭や管理栄養士の方々を目の前にしてのプレゼンテーションはとても緊張しました。発表後の質疑応答の時間では、私たちの予想をはるかに上回る鋭い質問が飛び交い、まだまだ未熟なのだと思います。来年は私たちの献立が実際に給食として提供されることになり、嬉しく思っています。

貴重な体験となり、大変勉強になりました。

人間生活科学部 管理栄養学科2年生 黒澤砂代さん 同朋高等学校(愛知県)出身

#### 緊張のプレゼンテーション!



## 犬山市と相互交流

### 新卒生も参加して「生きた学び体験」

短期大学部保育科1年の実習授業「実習基礎」に犬山市の保育士の方々をお迎えして、学生が実習やボランティアに参加している様子などを紹介していただきました。また、保育士になったばかりの卒業生は、「みんなの保育アイデア」に掲載された、手袋で作る「ぶたとオオカミ」の遊びを、元気一杯に見せてくれました。さらに、先生方には急ぎよ「保育ボランティア」のアンケートをとるために電話をかけるというロールプレイにも参加いただき、駆け出しの1年生が保育の現場へと一歩を踏み出す後押しとなりました。

(短期大学部 保育科准教授 多川則子)



ボランティア活動の様子を紹介したVTR

#### voice 先輩の姿に勇気もらった

犬山市の保育士さんから保育の現場の様子をお聞きし、子どもたちの前で使える遊びをたくさん紹介していただきました。大学生の私たちも楽しめるもので昨年卒業された先輩は、手作りのパペットを用いて、とてもハキハキと私たち全体の顔を見ながら手遊びを披露してくれました。私も1年半後、先輩のような保育士になれるかどうか不安ですが、人と接していく仕事です。前向きに明るく頑張りたいと思いました。短期大学部 保育科1年 池田智音さん 三重県立四日市商業高等学校出身



#### 「ぶたとオオカミ」新卒の先輩も大活躍

## 国際(多文化)交流

### 日本留学AWARDS2016

#### 日本留学AWARDS表彰式に佐々木学長が出席

8月23日(火)国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、一般財団法人日本語教育振興協会・日本語学校教育研究大会が主催する日本留学AWARDS「日本語学校の教職員が選ぶ留学生に勧めたい進学先」の表彰式が行われ、私立文系部門12校のうちの1校に本学が入賞しました。本学が評価された理由として、「入学前から一人ひとりの留学生をサポートする体制が整っていること」「日本語学校職員への説明会を開催していること」「具体的な留学生向けのカリキュラムが充実していること」といった声が日本語学校職員から寄せられました。



本学の紹介ビデオが上映される中、登壇する佐々木学長

### インバウンド観光推進業務の成果報告会

#### 留学生が外国観光客の誘致に協力

2015年11月～2016年3月、本学在籍の外国人留学生12名(日本人学生1名を含む)が犬山市と連携し、外国人観光客の誘致を含めた「犬山インバウンド観光推進事業」に協力。「多言語観光パンフレット」「多言語PRビデオ」の作成と「犬山城の多言語看板翻訳」の監修を行いました。

7月20日(水)の成果報告会では、犬山PRビデオ制作で最優秀賞を受賞した経済学部3年 ゲン・ニュー・クイン・アインさんと犬山観光パンフレットの台湾語翻訳を行った経営学部3年 ライ・ポーユさんが留学生を代表し、活動の成果報告を行いました。本学は今後も犬山市唯一の大学として、地域と連携した国際交流に取り組んでいく予定です。



犬山市の観光協会・市役所の職員の方々と記念撮影



最優秀賞を受賞したゲンさんの成果報告

### 尾張三大奇祭「石上げ祭」に参加

#### 体験型プロジェクトとの連携で事前講義を開講

8月7日(日)、尾張富士大宮浅間神社で行われた「石上げ祭」に学生、教職員合わせて26名が参加しました。体験型プロジェクト「犬山の観光戦略を考える」との連携もあり、本科目の履修生たちは事前に石上げ祭伝承保存会の方々から祭の由来や意義などについて講義を受け、「石上げ祭」に臨みました。初めて参加する学生が多く、はじめは上手くいかないこともありましたが、石上げ祭伝承保存会の方々と一緒に参加している地域の皆さんにかけ声や歌でサポートをしていただき、一致団結して無事奉納を果すことができました。



尾張富士の山頂にて、無事に奉納を終え元気に記念撮影



「尾張富士 大宮浅間神社」へ向け列をなして元気に出発!

## 実習レポート

### 子どもたちの成長を見極める教育者になりたい

幼稚園教育実習で3歳児を月齢ごとに分けたクラスを担当させていただきましたが、前半と後半の子どもたちでは、できることや理解することの違いが大きく、驚きました。次の実習で何ができるようになっていけるのか楽しみです。教師の方々とは1日中子どもたちを見ていて、集中力がすごいと感じました。また、子どもたちが帰った後も行事に向けて作業を行うなど、朝早くから夜まで働かれていて素晴らしいと思いました。私も一人ひとりの子どもたちに対して何ができるのかを判断し、個人の成長・発達を見極めることのできる教育者になりたいと思いました。

#### 【マハヤナ幼稚園(名古屋市南区)】

人間生活科学部 教育保育学科2年 吉田有希さん  
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



幼稚園教諭 教育実習

### 施設実習を終えて

最初は利用者の方々とのコミュニケーションが取れるか心配でしたが、指導員の方に一人ひとりの特徴をうかがい、どう対応をしたらいいのか教えていただきました。実習を振り返って思うことは、10日間ではとても足りないということです。利用者の方々とも関わり、それぞれの特徴やこだわりを理解した上で、必要な支援は何なのかを考える必要があると思いました。交流を深め、信頼関係ができてからが本当の支援の始まりだと思います。今回の実習は本当に良いものでした。ここで得た経験を今後も有効に活かしていきたいと思えます。

#### 【自由の社(知的障害者生活施設)】

人間生活科学部 教育保育学科3年 水野椋太さん  
豊橋市立豊橋高等学校出身



保育士 施設実習

### 授業の前は、しっかりと準備を

教育実習を通して、授業計画を考える大変さや子どもたちと一緒に授業を作り上げる楽しさを学びました。授業は、学年やクラスによって進める速さや教え方が違うので、授業前にはしっかりと準備が必要であることを理解しました。計画を立てる時は、はつきりと「めあて」を決めることで最後に子どもたちがどこまで理解しているのかがわかりやすくなると思います。授業は1人で行うのではなく、子どもたちや他の先生方と一緒に作り上げることがよい授業づくりにつながることを体感しました。私が思っている以上に子どもたちが自分の意見を発表してくれたので、楽しく授業ができました。

#### 【小牧市立陶(すえ)小学校】

人間生活科学部 管理栄養学科4年 山本真奈さん  
愛知県立丹羽高等学校出身



栄養教諭 教育実習

### 一人ひとりの特徴を把握した保育を

私は今回の保育所実習で、1歳児クラスを担当しました。目標は「1歳児の適切な保育を学ぶ」。1歳児の担当は初めてで予習を行い実習に臨みましたが、月齢により1歳児の子どもたちの発達には大きな差があります。そのため、園では個別計画を立て、それぞれの子どもに適した保育に取り組んでいました。私は「1歳児の子どもたち」に対する保育を心がけていましたが、子どもたち一人ひとりの特徴や発達段階を把握した保育を行う必要があることを学ぶことができました。先生にゼロから丁寧に指導していただき、得るものが多い実習になりました。

#### 【かりがね保育園(刈谷市)】

人間生活科学部 教育保育学科3年 荒木麻邑さん  
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



保育所実習

### 今後やるべきことが見えてきた

小学校の教育実習で学んだのは、授業内容を子どもたちに理解してもらうことの難しさです。教材研究・準備・イメージトレーニングをして授業に臨みましたが、子どもたちの反応が予想とは違い、思うように進めることができず、子どもたちの反応が予想とは違い、思うように進めることができず、授業は臨機応変に対応し、まともにつなげていく力量が必要だと痛感しました。他にもたくさん学んだことがありますが、自分に足りない点や今後やらなければならない課題が見えてきたので、とても良い経験になったと思います。また、今回の教育実習を通して、「小学校の先生になりたい」と心の底から願うようになりました。

#### 【那覇市立宇栄原小学校(沖縄県)】

人間生活科学部 教育保育学科4年 高元元気さん  
沖縄県立那覇西高等学校出身



小学校教諭 教育実習

### 夏休み・沖縄帰省時の臨地実習最高でした

私たちは地元・沖縄県で4週間の臨地実習を楽しみ終えることができました。長期間でしたが、それぞれ実家から通うことができたので、親のありがたみを感じながら、実習に集中することができました。病院では衛生管理を徹底した調理、栄養食指導、NST回診、ダイエット外来など、多岐にわたる分野を体験できました。毎日新たな気づきがある学習の連続でしたが、臨床分野での管理栄養士業務を目の当たりにして、より一層「臨床現場に立ちたい」と強く思いました。今回の実習で学んだことを、今後の学生生活に生かしていきたいと思っています。

#### 【医療法人沖繩徳洲会 中部徳洲会病院】

人間生活科学部 管理栄養学科3年 仲岡大洋さん(右)  
沖縄県立宜野座高等学校(沖縄県)出身  
西咲乃さん(左)  
沖縄県立小嶺高等学校(沖縄県)出身



病院臨地実習

## インターンシップレポート

### お客様の気持ちを第一に考えた営業がしたい

私は小川保険事務所にインターンシップという形で研修させていただきました。実際に働いてみると、仕事一つひとつに深い意味があると思いました。社長と同行させていただいた時も、約束の15分前に着く方がいいと思っていたのですが、お客様にも準備があり、早く着くことによってもっといい行動だと学びました。お客様の気持ちを第一に考えるからこそ、約束の時間を守って訪問するのだと思いました。今後、営業という仕事をさせてもらう機会がありましたら、お客様の満足度を考えながら営業の仕事をしたいと思っています。

#### ●小川保険事務所

経済学部3年 水谷謙太さん  
栄徳高等学校(愛知県)出身



(写真左)

## 就職内定者報告

### 時間の使い方を考えた就職活動を

私が就職活動をする上で気をつけたのは、時間の使い方です。最初は部活動やアルバイトをしながら、うまくスケジュール管理をするのは大変でした。いろいろ考えた結果、私は3社に絞って就職試験を受けることにしました。考えをまとめる時間や、時には休み時間を挟むことで、よりスムーズに就職活動を進めることができ、結果的に内定につなげることができました。また、私のために協力していただいた先生方やキャリアセンターの方々にはとても感謝しています。これらに恩返しができるよう、精進していきたいと思えます。

#### ●東海旅客鉄道株式会社(JR東海)

法学部4年 東久保さやさん  
樟南高等学校(鹿児島県)出身



### 目標としていた消防官採用試験に合格

私は小学生の時に救急隊員に助けられた経験と、「これから起こると予想される東海地震災害から一人でも多くの命を守りたい」という思いから、消防官を志望しました。消防官になるには、公務員試験に合格することが必須条件です。私は大学3年の2月から勉強を始めため、独学での合格は厳しいと判断し、キャリアセンターや予備校を利用して試験と面接の対策を計画的に行いました。その結果、目標の消防官採用試験に合格することができました。協力してくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、今後も努力を続けていきます。

#### ●江南市役所(消防職)

法学部4年 杉山大地さん  
安城学園高等学校(愛知県)出身



### 積極的にコミュニケーションを取った10日間

私は夏休みの10日間、リトルワールドでインターンシップ体験をしました。初めは緊張しましたが、リトルワールドの皆さんにいろいろ教えてもらい、積極的にコミュニケーションを取ることができました。入場ゲートではお客様に大きな声であいさつをし、店舗では調理の仕事を担当しました。一日一日が新しい体験で、さまざまな国の交流を知ることができました。あつという間の10日間でしたが、自分の日本語がきちんと伝わり、よかったです。仕事を教えてくださった店長をはじめ従業員の方々にも本当にお世話になりました。ありがとうございました。

#### ●野外民族博物館 リトルワールド

経営学部3年 グエン・カク・ヒエイさん  
(ベトナム人留学生)



(写真右)

### 立派な警察官になれるよう努力したい

入学当初から、警察官という職業を視野に入れていました。公務員試験の勉強時間を確保するために単位を早めに修得し、3年の後期試験が始まる半年前から勉強を開始しました。範囲が広いので的を絞って、自分の得意分野を伸ばすことを目的に徹底的に追い込みました。公務員試験は5択の選択問題なので苦手な科目は自分を信じて試験に挑みました。長かった試験勉強期間も今思えばあつという間だったと思います。キャリアセンターの方々にも面接対策の際は、お世話になりました。4月からは立派な警察官になれるよう努力したいと思います。

#### ●警視庁

法学部4年 木村文彦さん  
東邦高等学校(愛知県)出身



### 早めに就職活動の勉強をスタート

就職活動は会社によって面接や試験の時期が違うため、始める時期は人によってさまざまですが、早めの準備が大切だと思います。私は3年生になってから、少しずつ就職活動の勉強を始めました。また、大学の他に予備校に通い、わからない点は積極的に友人や先生に聞くようにし、苦手科目を克服する努力をしました。その結果、第一志望の大阪府警に合格することができました。私はこれから、大阪府民の期待に応えるため、粘り強く仕事ができる警察官を目指すとともに、誰からも頼りにされる女性警察官になりたいと思っています。

#### ●大阪府警察本部

経済学部4年 堀加奈さん  
滋賀県立甲西高等学校出身



## 就職内定者報告

### 自分の強みをアピールすることが大切

私は就職活動をする上で、いつも「正直でいること」を心がけていました。言葉で自分を飾っても、後で苦しくなるだけです。それよりも、自分自身の強みをしっかりとアピールすることが大切だと思います。伝えたい強みを自覚することで、面接にも自信を持って臨むことができました。苦手意識のあった履歴書やエントリーシートは、キャリアセンターや国際交流室の方々に添削をお願いしながら、少しずつ書き上げていくことで、完成度を高めていきました。就職は新しいスタートライン、何事にもチャレンジしていく気持ちを忘れずに、頑張っていきたいと思っています。

●株式会社エイチ・アイ・エス中部営業本部  
経営学部4年 許明哲さん  
名古屋市立工業高等学校出身



### 周りに影響されず、夢にチャレンジ

私は、管理栄養士として医療機関で働きたいという気持ちが強く、就職活動は自分なりのこだわりを持って進めていました。早い段階で内定を得た人たちを見て強い焦りを覚えることもありましたが、夢をあきらめずに地道な活動を続け、希望職種の内定を得ることができました。

私は今回の就職活動を通して、周りに影響されず、妥協せず、自分の本当にやりたいことができる場所を見つけることの大切さを知りました。先方へくださったキャリアセンターの方々、先生方、友人、そして家族に感謝しています。

●徳倉歯科口腔外科・矯正歯科  
人間生活科学部 管理栄養学科4年 三澤祥子さん  
愛知県立春日井西高等学校出身



### ●LEGOLAND Japan株式会社

#### 笑顔でいることで緊張もほぐれました

就職活動で心がけたのは、早めの準備と常に笑顔でいること。面接も笑顔で臨めば面接官の方も笑顔を見せてくださいますし、緊張もほぐれます。おかげで面接では、自分の伝えたいことをしっかりと話すことができました。

人間生活科学部 教育保育学科4年 川本実希さん(写真左)  
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身

#### 就職活動の幅が広がり、自信につながりました

就職活動は、スケジュール管理・下調べ・チャレンジ・仲間・元気・笑顔がとても大切。面接・グループディスカッション練習やエントリーシートの書き方を早めに学び、イベントに参加することで、幅が広がり、自信につながりました。

人間生活科学部 教育保育学科4年  
小出春香さん(写真右)  
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



### キャリアセンターの方々に感謝しています

私は就職活動を進めていく上で、キャリアセンターの方々に大変お世話になりました。履歴書の添削をはじめ模擬面接を通じた面接指導など、いつも丁寧に対応していただいたことを感謝しています。本番の最終面接はもちろん緊張しましたが、「入社後にどんな仕事をしたいか」「どう成長していきたいか」という目標を明確に持っていたため、面接官に自分自身の気持ちをしっかりと伝えることができました。自分が描いている未来のイメージに少しでも早く近づくことができるよう、これからも日々精進していきたいと思っています。

●東海クラリオン株式会社  
経営学部4年 大倉佑介さん  
長野県阿南高等学校出身



### 目標としていた保育職に合格

私は公務員試験に向け、対策講座を2年生の時から受講し、大学の先生方や周りの人たちから公務員試験に関する話をたくさん聞くようにしました。

公務員試験対策講座では、勉強を基礎から学び直して小論文や面接対策も行いました。大変なことや辛いことも多くありましたが、周りに流されず「保育士になりたい」という夢に向かって、早めに行動することが大切だと思います。多くの先生方とキャリアセンターの方々に支えていただき、目標としていた公務員試験に合格し、保育職に就くことができました。

●一宮市役所(保育職)  
人間生活科学部 教育保育学科4年  
大津明日翔さん、愛知県立一宮北高等学校出身

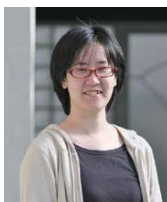


### 第一希望の犬山市役所に合格

公務員(保育職)の筆記試験は一般教養と専門科目の2つがあるため、毎日勉強する時間を作り、大学で行われる試験対策講座やサポート教室、キャリアセンターを積極的に利用することで、不安点を減らしました。そして自分に合う参考書を見つけて繰り返し問題を解くことで苦手な部分を把握し、効率良く勉強を進めていきました。また、ピアノの課題曲は暗譜し、鍵盤を見なくても弾くことができるようになるまで練習をしました。

多くの先生方に応援いただき、第一希望の犬山市役所に合格でき、とても嬉しく思っています。

●犬山市役所(保育職)  
短期大学部 保育科2年 吉岡翔さん  
愛知県立丹羽高等学校出身



## 第36回 消費者問題研究所「公開講演会」

### 消費者問題の実態変化と専門家の役割

7月2日(土)、本学名駅サテライトキャンパス10階ホールにて公開講演会を開催しました。今回は「消費者問題の実態変化と専門家の役割」をテーマに、鈴木基代氏(国民生活センター相談情報部長)、金子浩之氏(消費者庁消費者教育・地方協力課長)、清水かほる氏(全国消費生活相談員協会中部支部長)、花井泰子氏(消費者被害防止ネットワーク東海理事)を講師にお招きし、所長の田口義明教授がコーディネータを務めました。4名の講師からは、現場感覚あふれる報告がなされ、続いてパネルディスカッションへ、170名を超える方々のご参加をいただき、消費者トラブル解決に当たる消費生活専門家の役割や課題をめぐって活発な議論が交わされました。



学生の受講が目立つ公開講演会の様子

## 英語教育センター

### 「学内講演会」が開催されました

7月8日(金)、国際ビジネスコミュニケーション協会名古屋事業所所長の城田賢吾氏をお迎えし、「社会で注目されるTOEIC®」と題する講演会が開催され、地域の皆様をはじめ約150名の方々に参加いただきました。TOEIC試験の説明の後、各種企業において「TOEICのスコアが配属の際の参考にされている」「一定スコア獲得が昇進・昇格の必須条件になっている」といった実例が紹介されました。最後は、TOEIC試験がどのようなものであるかを体験してもらうために、サンプルテストにチャレンジ。この講演に参加した方々は、英語学習への意欲がますます高まったことと思います。(経済学部准教授 下川郁子)



サンプル問題を解く学生たち

## 上海研究調査&シンポジウム

### 華東政法大学との学術交流第1弾

8月25日(水)~29日(月)、中国の医療紛争解決制度を調査するために、法学部の張瑞輝准教授と共に日本側調査団の一員として上海市を訪れました。訪問先は、①上海浦東裁判所、②上海浦東医患紛争人民調停委員会、③上海高等裁判所、④華東政法大学司法鑑定センターの4カ所でした。

今回の訪問にあたっては、本学法学部と学術交流に関する協定を締結している華東政法大学より非常に手厚いサポートを受けることができ、調査は非常に充実したものとなりました。(法学部准教授 穴戸圭介)



上海浦東裁判所

上海浦東医患紛争人民調停委員会



上海高等裁判所



華東政法大学司法鑑定センター